

広報新時代

全国に誇れる地域資源が豊富にある行田市。全国の皆さんにその魅力を伝えたい、届けたい。そして、もっと多くの方に行田を訪れてもらいたい……。そのための広報手段として何があるのか。ここでは、広報紙やホームページだけでなく、新時代を切り開く広報手段で、行田の魅力を発信する取り組みを紹介します。

これまでの広報

平成24年11月に公開された映画「のぼうの城」。映画の舞台となったまちとして、「行田」という地名は全国に知られるようになりました。しかし、「行田の魅力」が全国に伝わっているのかというと、残念ながらまだまだ知られていないのが実情です。わがまちには、埼玉古墳群や忍城址、足袋蔵、B級グルメ、行田蓮、田んぼアートなど、全国に誇れる地域資源が豊富に



あるのに……。一体なぜなのでしょう。それは、これまでの広報手段が広報紙とホームページに限られていたことでした。広報紙は市民の方に、ホームページは本市に興味を持った方にしか情報が行き届きませ

る。その結果、行田の魅力を全国の方に広く伝えることが十分にできなかったのです。

新たな広報に挑戦

通信環境の飛躍的な向上により、家庭や個人で気軽にインターネットや動画を見ることができるようになりました。また、日記やメッセージなどを通じて友人や知人・共通の趣味を持つ方との交流を目的としたサービスであるSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）

も登場。市では、平成24年度にSNSの一つとして代表的なツイッターを導入し、「行田市公式ツイッター」から行政情報や災害情報を発信することで広報手段を拡充しました。

の魅力を表現した60秒程度のCMを全国から募集し、入賞作品を行田市のPR動画として活用しました。このように動画を中心とした情報発信に取り組み、新たな広報戦略を開拓することに挑戦しています。

最先端の技術を駆使

平成25年度には「全国の皆さんに行田というまちを知ってもらいたい。実際に行田を訪れていただき、その魅力を肌で感じてもらいたい」という思いから、本格的に「行田の魅力発信事業」をスタート。観光スポットや各種イベントの様子を紹介する行田市PR動画を作成し、市ホームページ内の行田動画チャンネルに掲載した他、動画共有サイト「YouTube」でも配信しています。さらには、初めての取り組みとして「第1回行田市CMコンテスト」を開催。行田

今や2人に1人が所有しているといわれているスマートフォン。その動画視聴機能に注目し、AR（拡張現実）技術を使った動画を配信しました。ARとは、スマートフォンや携帯タブレットを紙面（パンフレットやポスター）などの特定の場所にかざすと、動画が視聴できるものです。文字や写真だけでは伝えきれない情報を付加することで、若い人をはじめ、多くの方に広報紙や本市に興味を持ってもらいたいという思いがありました。



素晴らしい映像が撮れたら、ぜひCMコンテストに応募を！

前年度は、「市報ぎょうだ」平成26年1月号に本市の観光大使である、スターダスト☆レビューの根本要さんからのスペシャルメッセージ動画を配信しました（現在は視聴できません）。全国に多くのファンがい

る根本さんの動画とあって、全国から広報紙を求める声が上がるなど反響を呼びました。

魅力発信事業第2弾

全国に行田の魅力を発信するために、継続して情報を発信することが必要です。さらに、工夫を凝らしたPR方法でなければ、その効果は期待できません。今年度、魅力発信事業第2弾として、「AR（拡張現実）技術を活用した行田の魅力発信事業」第2回行田市CMコンテスト」を実施します。

行田の魅力を動画で発信するとともに、撮影を通して行田を好きになってもらう。この取り組みが、行田の魅力をさらに広めるきっかけになると期待しています。



スマートフォンがあれば無料ですぐにAR体験ができます

第1回行田市CMコンテスト入賞者にインタビュー



CMコンテストの応募をきっかけに、もっと行田が好きになりました

第1回行田市CMコンテスト
審査委員特別賞を受賞
金井義介さん（押上町）

今まで行田の自然を中心に撮影してきました。第1回行田市CMコンテストに応募した理由は、「水と緑が豊かな行田」を全国にPRできたらという思いがあったからです。多くの友人に入賞したCMを見てもらいましたが、みんな「行田っていいまちだね」と言ってくれました。私自身も、「行田は自然にあふれていて、魅力的なまち」ということを改めて認識しました。第2回のコンテストもあるので、入賞できるような作品を作って、応募したいですね。



写真に加えて、動画またはARで行田の魅力を発信中

